## No title available

Patent number:

JP56014713U

**Publication date:** 

1981-02-07

Inventor:
Applicant:
Classification:

- international:

B60H1/00; A47C7/72; A47C7/74; B60H3/00; B60H1/00;

A47C7/72; B60H3/00; (IPC1-7): B60H3/00; A47C7/72;

B60H1/00

- european:

Application number: JP19790097370U 19790713 Priority number(s): JP19790097370U 19790713

Report a data error here

Abstract not available for JP56014713U

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

### 09 日本団特許庁 (JP)

# ◎ 公開実用新案公報(U)

①実用新案出願公開

昭56—14713

60Int. Cl.3 B 60 H 3/00 A 47 C 7/72

B 60 H

推別記号

广内整理器分 6968-3L 6417-3B 6968-31.

WM和56年(1981)2月7日

客在請求 未請求

(全 4 頁)

### 60シート冷暖装置

BE 54-97370 顧

1/00

实 2011

の考 者

昭54(1979)7月13日

相崎昭友

#### の実用新変型製造水の範囲

- 冷気あるいは暖気が通過して、車内の人間が 座る面を内側から冷やしたりあるいは暖めたり する通気腔と、単内のクーラあるいはヒータか らこの通気腔内へ冷気あるいは暖気を送り込む 送風管とからなることを特徴とするシート冷暖 装置.
- 2 通気腔はシート内に設けられていることを特 徴とする実用新来登録請求の範囲第1項に配載 のシート冷暖装置。
- 3. 通気腔は腰掛け部及び背もたれ部に設けられ ていることを特徴とする実用新来登録請求の範 囲第2項に記載のシート冷暖装置。
- 4 通気腔はシート上に載置できるマット内に設 けられていることを特徴とする実用新楽登録論 求の範囲第1項に記載のシート冷暖装置。
- 5 送風管はクーラあるいはヒータの送風口から 強制的に吸引する吸引装置を備えていることを 特徴とする実用新来登録請求の範囲第4項に配 戦のシート冷暖装置。
- 6 通気腔にシート又はマツトの胸掛け部の前端 に閉口し、背もたれ部の上端に放出口を備えて

大垣市菅野1丁目1656番地の50

の出 版 人 相崎昭友

大垣市菅野1丁目1656香地の50

個代 理 人 弁理士 恩田博宣

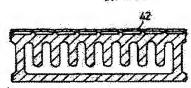
いることを特徴とする実用新来登録請求の範囲 第3項又は第5項に記載のシート冷吸装置。

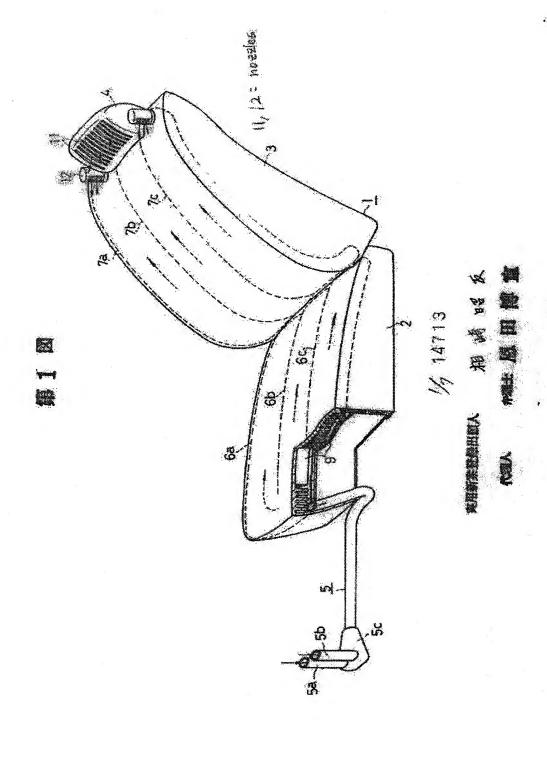
- 7 通気腔は内面に腔面より突出した複数個のリ プを備えていることを特徴とする実用新来登録 請求の範囲第6項に記載のシート冷暖装置。
- 8 折出口には放出方向を変化させることのでき るノズルを突殺したことを特徴とする実用新案 登録請求の範囲第7項に記載のシート冷環装置。 図面の簡単な説明

第1回及び第2回はこの考案のシート冷峻装置 を具体化した一実施例を示す一部破断斜視図及び 斜視図、第3図は別の実施例を示す一部破断斜視 図、第4回は同じく吸入装置の断面図、第6個及 び第5回は同じく風量調節板及びノズルの一部破 断斜視図、第7図はさらに別の実施例を示す一部 破断斜視図、第8回は結整防止用のシートを取付。 けた状態を示す断面図、第9回はサマークツショ ンにエアを送込んだ状態を示す斜視図である。

送風管 5、通気腔6a, 6b, 6c, 7a, 7b, 7c, ノ ズル12、マット14、送風管17、吸入装置18、通気 胜19a, 19b, 19c, 19d, 24a, 24b, 24c, 24d, 3 8、ノズル27a、27b、風量調節板83。

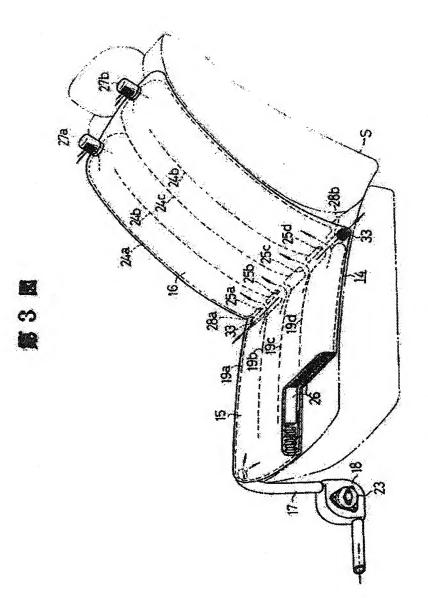
無8図



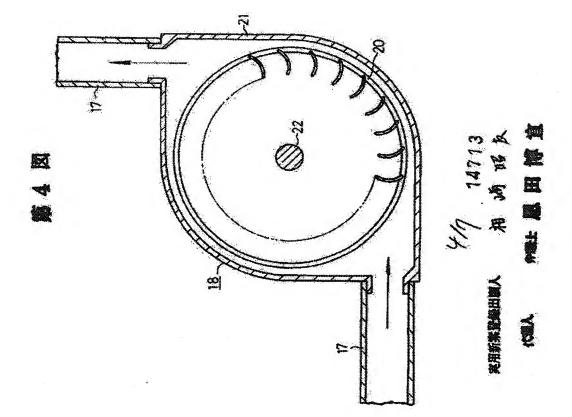


THE HITTER

TO SEE SEE SEE SEE



MAL 思田原皇



因

題の

等田 超 出

N 9 8

The second secon

**备 馬 服 灰** 国の観 象用影響器器用個人 31.

**新华园田园村** 

路面よらなな関節がつ